

ハンデ重賞は難しく考えるな
ハンデ戦をイメージ通りに買って勝つ方法

著竹内 裕也

ハンデ重賞は荒れる？

はい、結論から言うと荒れているように見えます。

しかし、どの馬にもチャンスがあるのがハンデ戦なのですし

オッズも割れるのですから人気下位がきても不思議じゃないです。

この数年を見ても、単勝10番人気程度までは連対率が10%あり

複勝率も20%前後もあります。

それだけハンデキャッパーが優秀という競馬を利用しましょう。

まず通常の場合、人気馬を買う必要がありません。

理由は弱い馬・実績の無い馬でも勝負になるようになっている

それがハンデ戦だからです。

買い方 単勝6～10番人気のワイドBOX

これだけで2004年～現在までの成績が

的中率32.6%

回収率147.7%

上記期間でのハンデ重賞での単勝1番人気の勝率が24%ですので

それと比べてもこの成績は優秀だと言えます。

しかし、ハンデ重賞なのに単勝1倍台の支持をされる馬が
ごく稀にあります。

その場合、逆に通常より信頼度が上がり・・・

的中率60%
回収率108%

ここまで上昇してしまいますので、注意しましょう。
何でも穴を狙うということでも無いのです。

ちなみに、ワイドBOXのところを馬連にしてみると？

回収率は186%まで上昇しますが
的中率は14%まで落ちてしまいます。

ですので、ハンデ重賞の買い方としては
1番人気は1倍台なら、1番人気の単勝 or 軸の馬券
それ以外はワイドBOXで単勝6～10番人気で買う。

こうして書いてみると、ハンデ戦のイメージ通りではないですか？

ハンデ戦でも強い馬は勝ち、それ以外なら荒れるという。

競馬は記憶のスポーツです

「あれ？こんなレースが前にもあったような、確か前残りの・・・」

なんてことが浮かんだら買うべきです。

人の記憶なんて曖昧で信用できませんが

フッと浮かぶイメージは結構大事だったりします。